

ご存じですか？

あなたの街の病院が**いま危機的状況**なのを！！

地域医療はもう崩壊寸前です

1. **診療報酬は公定価格**です。しかし物価・賃金の上昇に対応して診療報酬が上がっていません。
2. 結果、多くの病院は**深刻な経営難**に陥っています。
3. また、医療・介護に従事する数多くのスタッフの**賃金**を、他産業と同じように**上げることが難しく**なっています。
4. **物価・賃金の上昇に適切に対応した診療報酬の仕組み**が必要なのです。

このままでは

ある日突然、**病院がなくなります**

【緊急調査】2024年度診療報酬改定後の病院の経営状況

- 病院の経営状況は経年的に悪化し、2023年度には半数を超える病院が赤字に陥っていた。
- 2024年度診療報酬改定の影響を調べるため、6病院団体の会員を対象に2024年度改定後の病院の経営状況に関する緊急調査を実施した。1,816病院から回答を得た。

【結果概要】

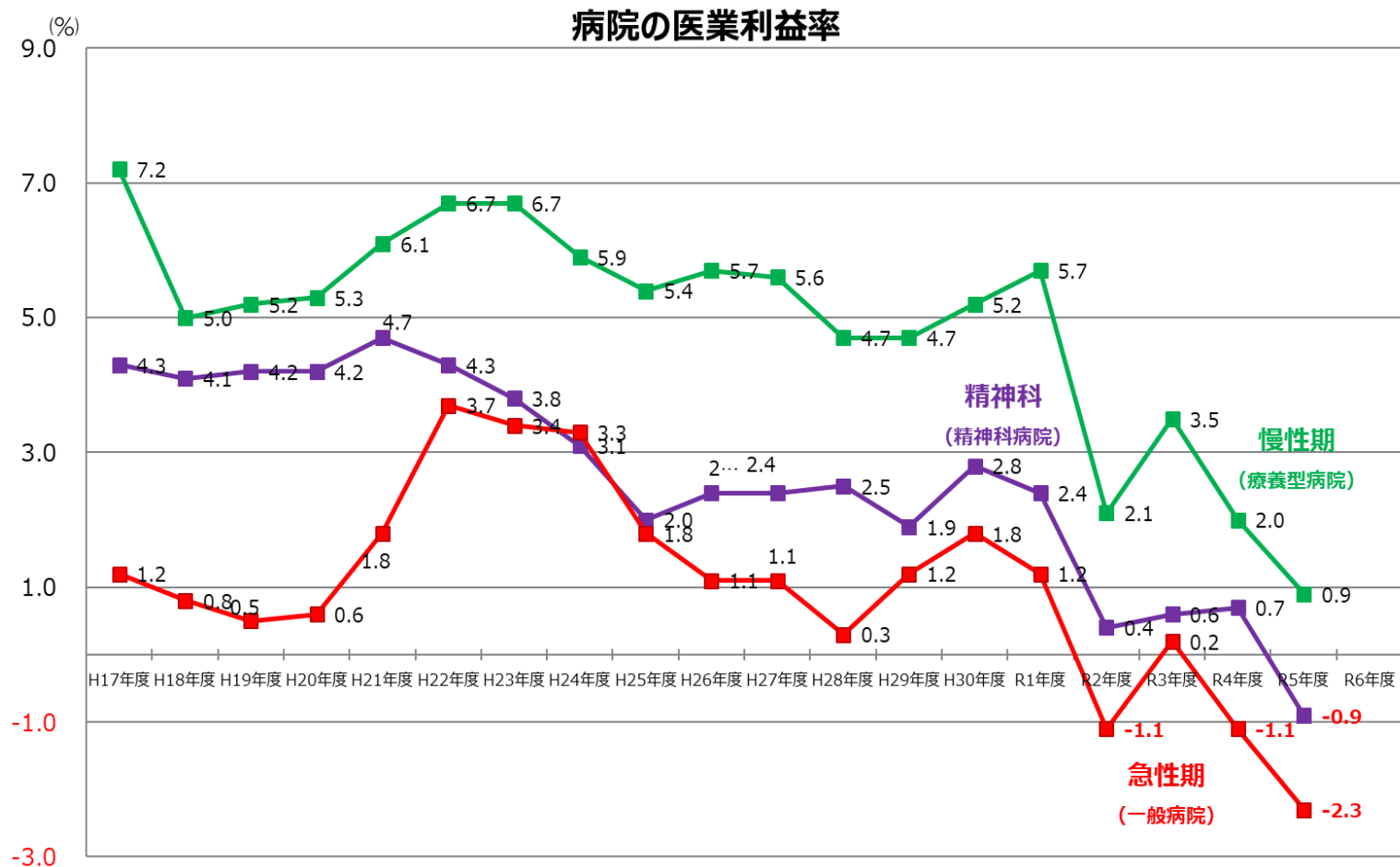
- 2024年診療報酬改定後、**病床利用率は上昇**傾向にあるものの、**医業利益率、経常利益率は悪化**傾向が認められた。
- 医業利益の**赤字病院割合は69%まで増加**、経常利益の**赤字病院割合は61%まで増加**した。
- 2023年度WAM(福祉医療機構)データの債務償還年数の分析では**半数の病院が破綻懸念先**と判断される30年を超えていた。

【要望】

- 病院経営は危機的状況であり、病院の診療報酬について、**物価・賃金の上昇に適切に対応できる仕組み**が必要。
- そのために、**社会保障予算に関する財政フレームの見直し**を行い、「社会保障関係費の伸びを高齢化の伸びの範囲内に抑制する」という取扱いを改めることが必要。

病院の医業利益率の年次推移 独立行政法人 WAM(福祉医療機構)調査より

- WAM(福祉医療機構)の調査では、病院の経営状況(医業利益率)は経年的に悪化しており、特に**急性期(一般病院)**の2023年度(令和5年度)では過去最大の**マイナス(▲2.3%)**となっている。



診療報酬
改定率

▲3.16% ▲0.82% 0.190% 0.004% ▲1.26% ▲1.31% ▲1.19% ▲0.46% ▲0.94% ▲0.12%

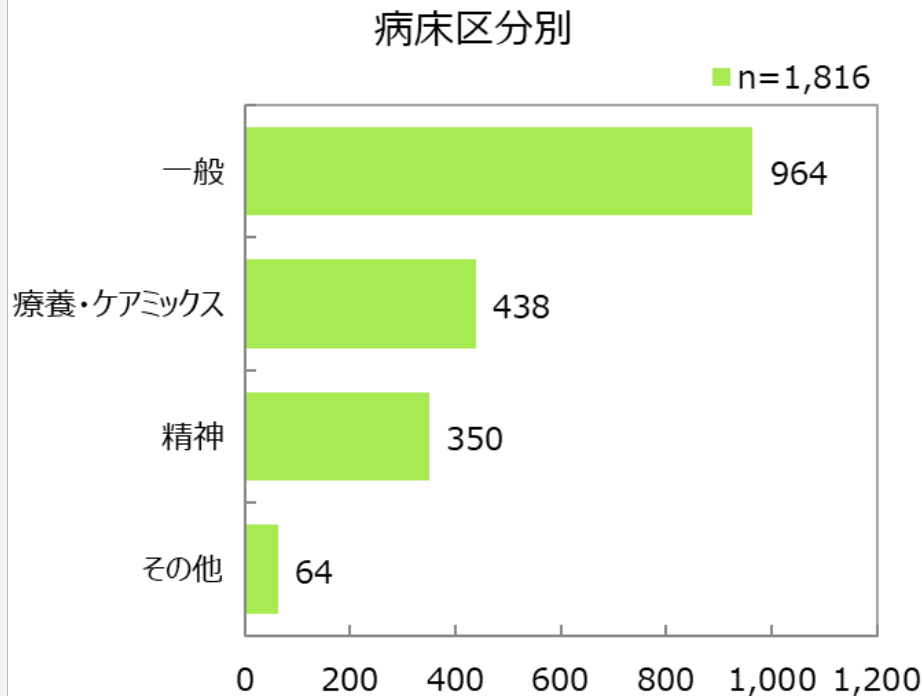
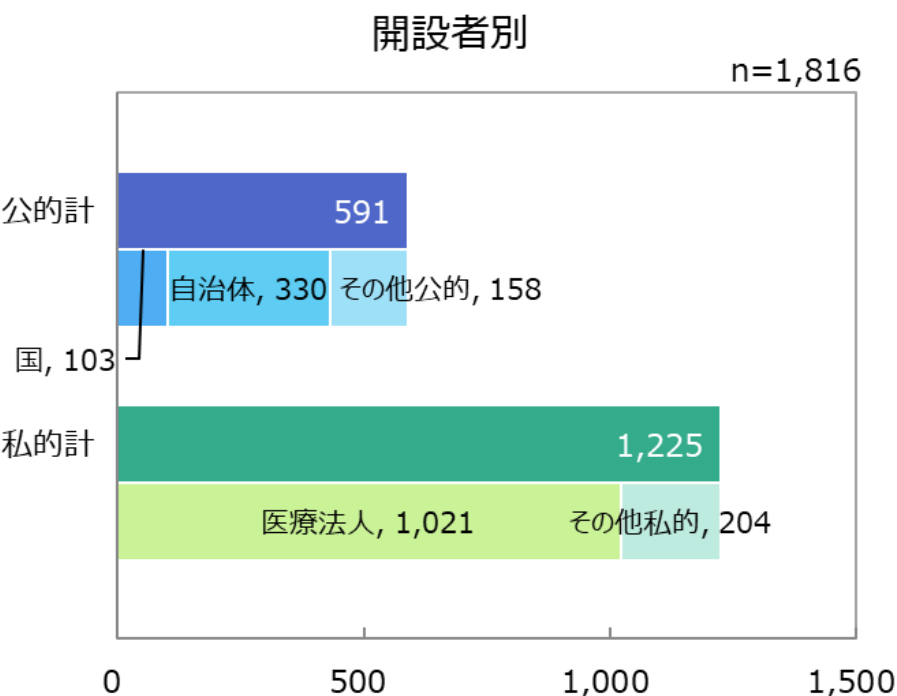
出典：WAM 独立行政法人 福祉医療機構 資料より加納繁照作成

【緊急調査】2024年度診療報酬改定後の病院の経営状況

<調査概要>

【概要】 調査対象施設数: **5,901病院** 回答数: **1,816病院**(有効回答**1,731病院**) 回答率: **30.8%**

【基本情報】

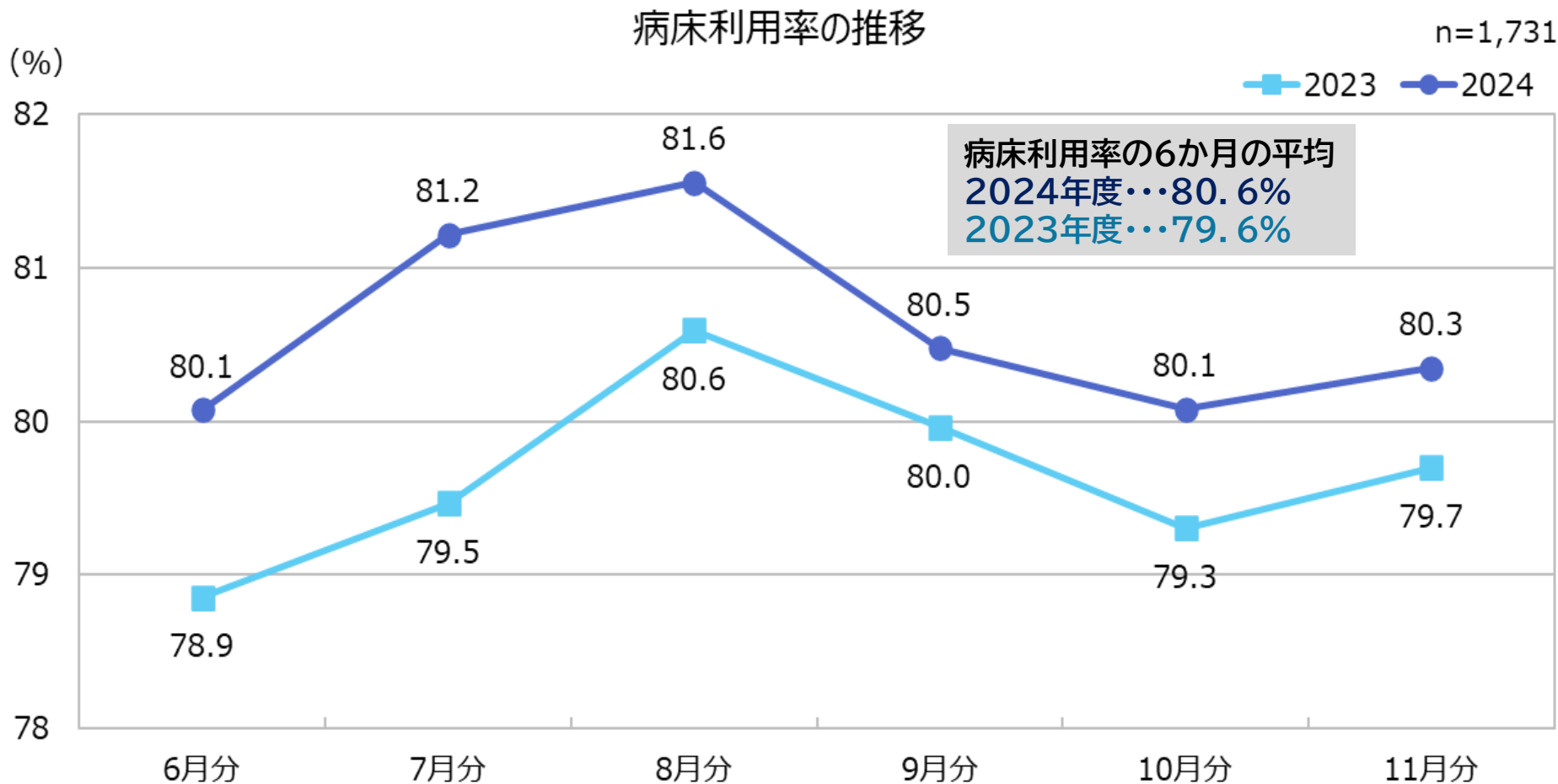


【病床区分の分け方】

- 一般: 一般病床が全体の80%以上を占める病院
- 療養・ケアミックス: 療養病床 or 一般病床+療養病床が全体の80%以上を占める病院
- 精神: 精神病床が全体の80%以上を占める病院
- その他: 上記以外の病院

【緊急調査】2024年度診療報酬改定後の病院の経営状況 ＜病床利用率の推移＞

● **病床利用率**は6か月平均で、2023年度より**2024年度の方が1ポイント増加**

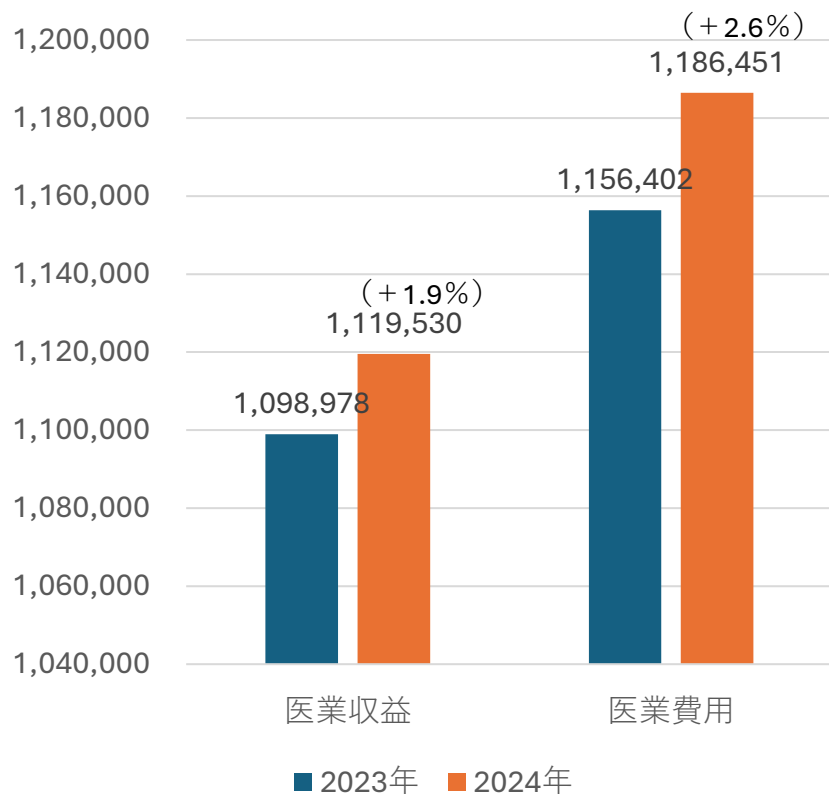


【緊急調査】2024年度診療報酬改定後の病院の経営状況
2023年／2024年 6月～11月合計
＜医業収益・医業費用、医業利益率・経常利益率の推移＞

- 2023年度、2024年度ともに**医業費用**が**医業収益**を上回っている。
- 2024年度は2023年度と比較し**医業費用の増加**が**医業収益の増加**より**大きい**。
- **医業利益率・経常利益率**ともに**マイナス**であり、2023年度より**2024年度の方が悪化**している

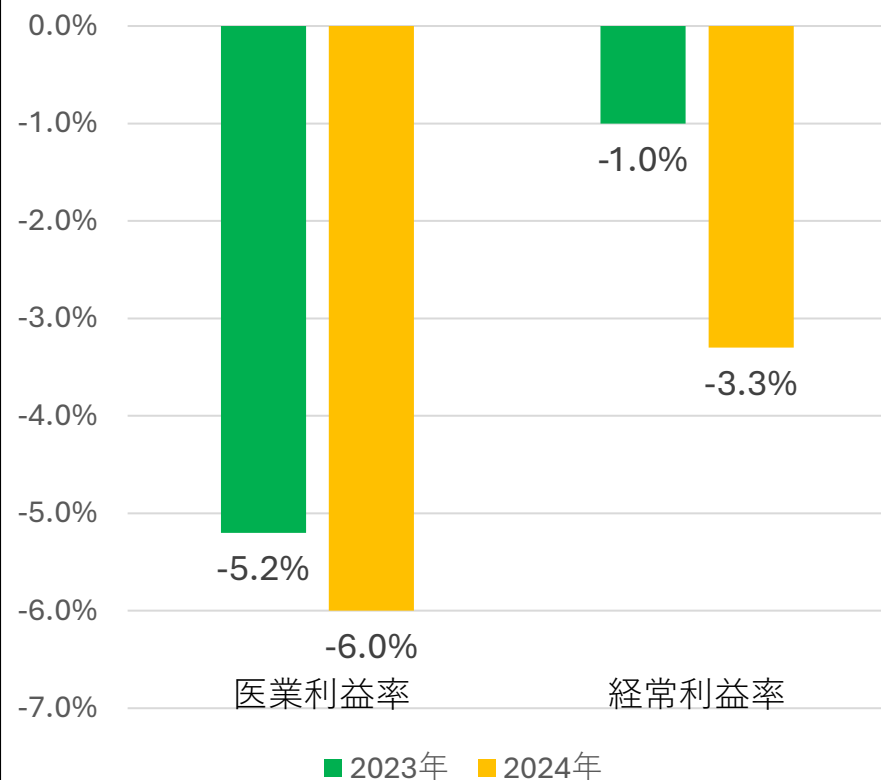
100床あたりの平均(単位:千円)

医業収益・医業費用の推移



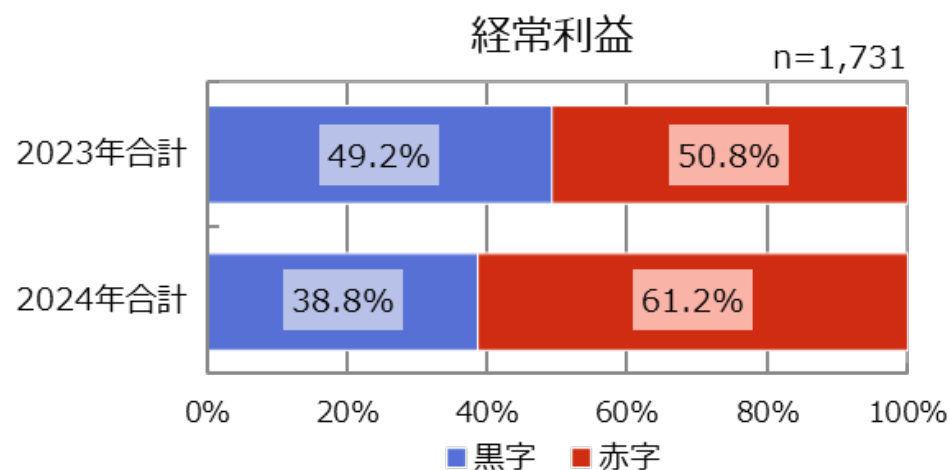
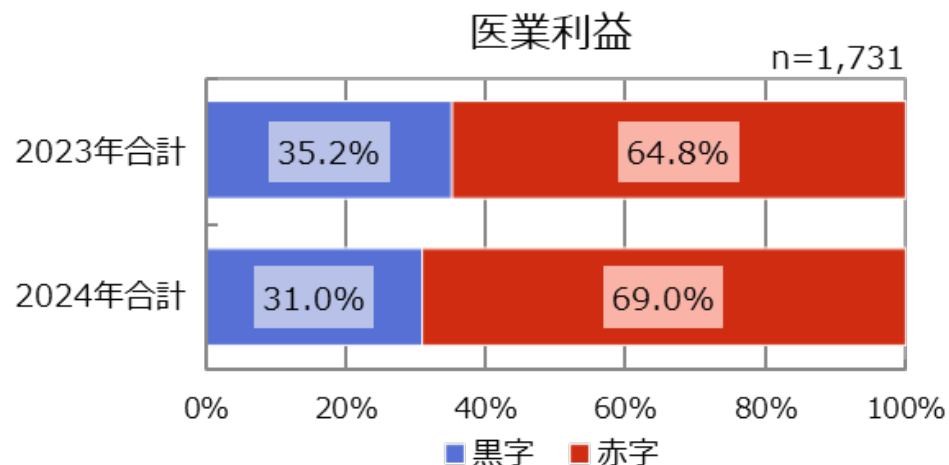
100床あたりの平均

医業利益率・経常利益率の推移



【緊急調査】2024年度診療報酬改定後の病院の経営状況 ＜医業利益・経常利益 黒字・赤字割合＞

- 医業利益・経常利益ともに2024年度は赤字病院割合が増加している



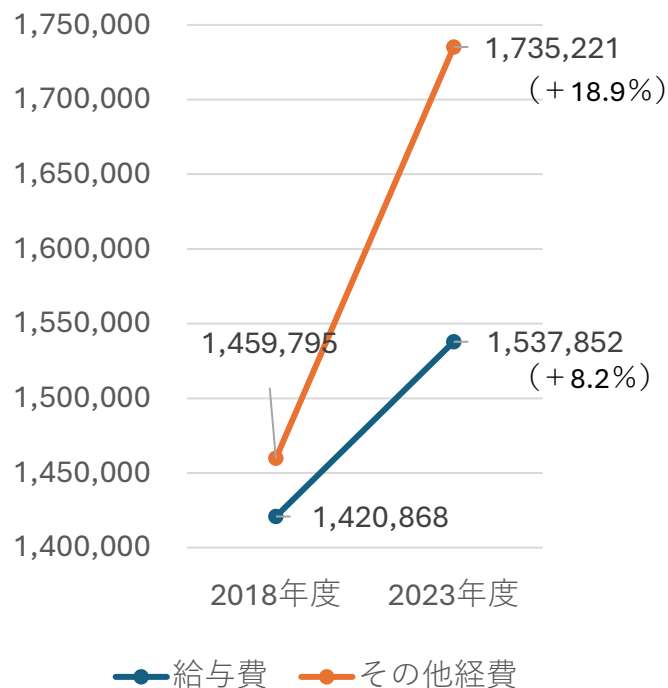
2018年度／2023年度合計 経費の変化・その他経費の内訳

2024年度病院経営定期調査【3病院団体合同調査】より再掲

- 2018年と2023年の経費の変化は、給与費よりも**その他経費の増加**が大きい。
- その他経費の内訳では、診療報酬では償還されない**委託費、水道光熱費などの経費が増えており、控除対象外消費税は約50%増加**している。

100床あたりの平均(単位:千円)

5年間の経費の変化



100床あたりの平均(単位:千円)

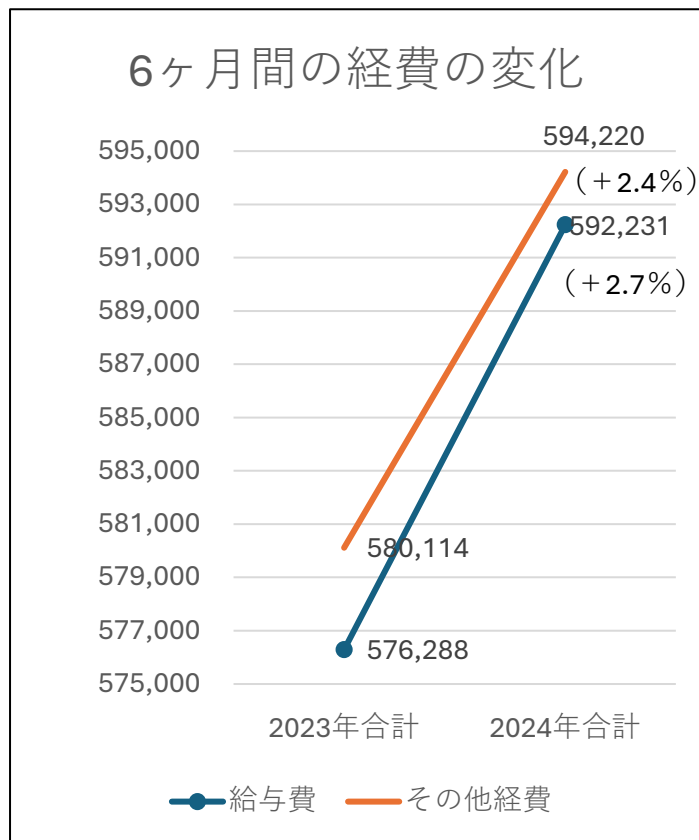
その他 経費 内訳

	2018年度	2023年度	増加率
医薬品費	482,158	615,312	27.6%増
診療材料費	306,855	351,077	14.4%増
委託費	190,309	232,547	22.2%増
経費(水道光熱費等)	139,709	158,707	13.6%増
控除対象外消費税等負担額	30,367	45,209	48.9%増

【緊急調査】2024年度診療報酬改定後の病院の経営状況 <2023年／2024年6月～11月合計 経費の変化・その他経費の内訳>

- 2023年、2024年の比較でも、**給与費、その他の経費が増加**しており、その内訳では**すべての費目で増加**している。
- 改定後の医業収益の増加率1.9%に対し、(医薬品費以外)**全ての経費の増加率が上回っていた**。

100床あたりの平均(単位:千円)

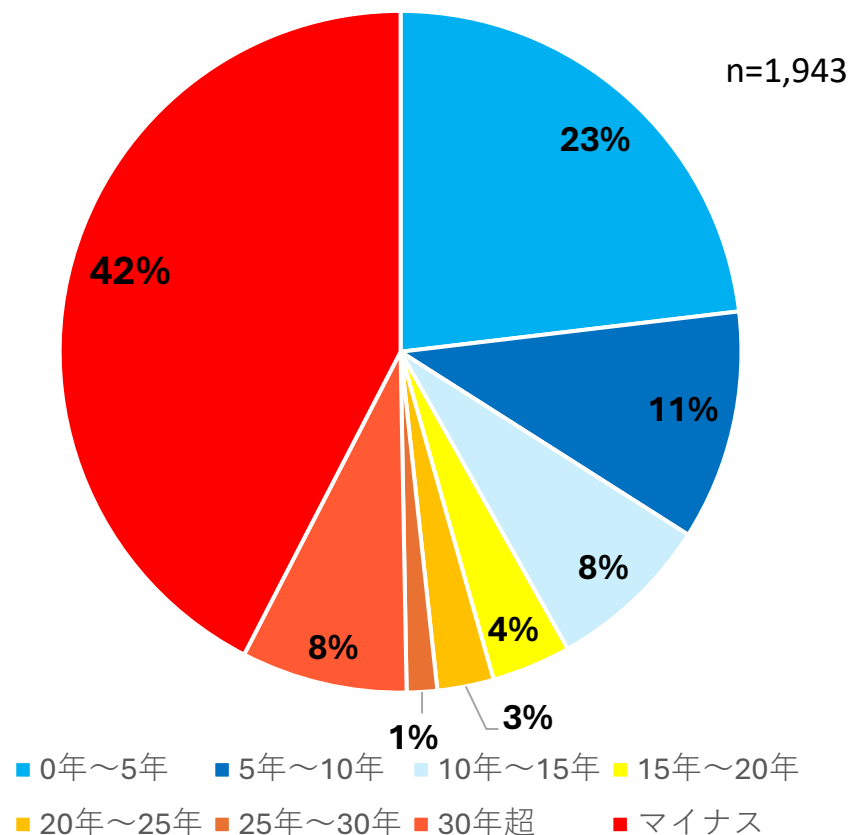


100床あたりの平均(単位:千円)

その他 経費 内訳			
	2023年度	2024年度	増加率
医薬品費	180,274	181,303	0.6%増
診療材料費	109,003	113,523	4.1%増
委託費	80,100	83,444	4.2%増
経費(水道光熱費等)	76,121	78,489	3.1%増
控除対象外消費税等負担額	14,010	14,346	2.4%増

債務償還年数(借入を返済するまでに必要な年数)

独立行政法人 WAM(福祉医療機構)より提供



< 病院の状況 >

2023年度において、債務償還年数30年超及びマイナスの病院が50%となっており、一般的に**破綻懸念先とされる30年超の病院が半数**を占めていることになる。

※一般的には5年から10年程度といわれる。

※債務償還年数 = [(短期借入金 + 1年以内返済予定長期借入金 + 1年以内返済予定リース債務 + 長期借入金 + リース債務) - {(事業未収金 + たな卸資産) - (買掛金 + 支払手形)}] ÷ (経常利益(コロナ関連補助金は除く) - 収益関係税金 + 減価償却)

※マイナスとは、債務償還原資(経常利益 - 収益関係税金 + 減価償却)が赤字の場合